

アチェ灌漑事業



本事業にて建設された頭首工

借款概要

承諾額/実行額	6,333百万円/5,805百万円
借款契約調印	1990年12月
借款契約条件	金利2.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1997年12月

事業概要

バンダ・アチェ市に隣接するアチェ河流域の水田地帯に頭首工や水路等の灌漑施設を建設し、米の増産及び農民の所得向上を図るもの。

評価結果

1997年の本事業完成以降、雨期・乾期とも徐々に米の作付率が向上し、2000年では合計145%で、計画値の167%に近い値を示している。生産性については、完成後には、計画値の5.0トン/haを上回り、雨期で7.0トン/ha、乾期で6.0トン/haを達成している。受益地農民へのインタビュー調査（対象100世帯）では、全体的には8割強が本事業に「満足」していた。また、ほぼ全員が、本事業は農業収入や雇用機会の増加等地域経済に好ましい影響を与えたと回答した。一方で、インタビュー対象者の6割が用地取得の対象となっていたが、それに伴う大規模な住民移転はなく、補償についても、不満の意を示したものはなかった。

末端配水施設は、管理する水利組合数がやや不足気味ではあるが、組合員による維持管理は適切に行われている。主要施設はアチェ河灌漑プロジェクト事務所の管理下にあるが、予算不足により十分に維持管理されておらず、一部損壊箇所も見られる。施設の修復と持続性確保について援助効果促進調査（SAPS）を通じて今後の対応策につき支援を行っている。